

平成24年度

定額の資金を運用するための
基金の運用状況審査意見書

嬉野市監査委員

定額の資金を運用するための基金の運用状況審査意見書

第1 審査の対象

定額の資金を運用するための基金の運用状況調書

第2 審査の期間

平成25年 8月1日から 8月12日まで

第3 審査の手続

審査に付された定額の資金を運用するための基金の運用状況について審査した。
別表の4つの基金について、設置目的に沿って適正に運用されたか、計数は正確であるかなどについて、関係諸帳簿を照合して審査を実施した。

第4 審査の結果

平成24年度定額の資金を運用するための基金の運用状況調書、現金の当年度末現在高及び指定金融機関の預金残高を符合した結果、その計数については、適正であり、全ての基金について目的に沿って運用されていることを認めた。

別表 定額の資金を運用するための基金の運用状況 (単位：円)

基金名	区分	前年度末現在高	決算期中の増減高		決算年度末現在高
			増	減	
肉用繁殖牛 導入事業基金	肉牛	(22頭) 13,863,793	(1頭) 746,762	(11頭) 6,837,780	(12頭) 7,772,775
	現金	13,362,000	6,840,489	746,762	19,455,727
	計	27,225,793	7,587,251	7,584,542	27,228,502
土地開発基金	土地	0	0	0	0
	現金	100,000,000	179,506	0	100,179,506
	計	100,000,000	179,506	0	100,179,506
高額療養費 資金貸付基金	貸付金	89,000	4,076,000	4,165,000	0
	現金	7,411,000	4,165,000	4,076,000	7,500,000
	計	7,500,000	8,241,000	8,241,000	7,500,000
印紙類購入基金	印紙類	0	8,889,200	7,044,100	1,845,100
	現金	0	9,044,100	8,889,200	154,900
	計	0	17,933,300	15,933,300	2,000,000

(1) 嬉野市肉用繁殖牛導入事業基金

当年度の基金の運用について、前年度決算年度末より肉牛が10頭の減少により、決算年度末現在高は12頭で27,228,502円である。

肉牛の決算期中の増減については、1頭の導入に対し11頭の償還完了により前年度より2,709円増加している。

現金は、11頭分の償還金収入が6,840,489円で、決算年度末現在高は19,455,727円である。

(2) 嬉野市土地開発基金

当年度の基金の現金については、預金利子の収入で179,506円増加し、決算年度末現在高は、100,179,506円である。

土地については、異動はない。

(3) 嬉野市高額療養費資金貸付基金

当年度の基金の運用は、貸付金が4,076,000円で、返済額が過年度分を含め4,165,000円で、25年度への貸付繰越はない。

決算年度末における現金の差引残高は、7,500,000円である。

(4) 嬉野市印紙類購入基金

当年度の基金の印紙類については、8,889,200円の購入に対し、売りさばきが7,044,100円で、決算年度期末現在高は1,845,100円である。

決算年度末における現金の差引残高は、154,900円である。